

令和3年度食物アレルギー対応におけるヒヤリハット報告事例

事例数 学校3事例、保育園0事例 合計3事例（令和3年7月1日現在）

学年	原因	状況
小1	ピーナツ	<p>○給食の『乾燥小魚』（アレルギーピーナツを含む）を誤食したケース</p> <p>事前に保護者から連絡帳にて『コンタミネーションが心配なので除去する』と連絡を頂き、献立表にもマーカのついたものを保護者から頂いていたが、確認不足でたべさせてしまった。誤食後経過観察し、体調不良等の変化は見られなかった。担任から保護者に連絡し付き添い下校をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、管理職で献立を詳細に確認。他の職員にも注意喚起を促し、校内で共通理解と情報共有を図った。</li> <li>・児童本人と担任で会食前までに給食メニューを確認し再発防止に努める。</li> </ul>
中2	小麦	<p>○給食の『カレーきしめん』（アレルギー小麦を含む）を誤食したケース</p> <p>本人が食べてもよいと思いカレーを誤食し、のどの痛みを発症。頓服薬を飲み休養後、アナフィラキシーを発症。エピペンを使用し救急車で病院搬送した。</p> <p>保護者から提出される「献立チェック一覧表」には『カレーきしめん』にはマーカがしてあったが登校時、母親が『カレーきしめん』ではなく、『きしめん』は食べないことと伝えた。汁物を食べてはいけないときは弁当の中に汁物が用意されているがこの日はなく、カレーは食べていいと思い食べてしまった。</p> <p>献立チェック一覧表のコピーを担任は母親から手渡されており、いつも確認するがこの日は本人が配膳したため、担任は確認しなくてもよいと思いしなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人にも母親が記入する献立のコピーを持たせる。</li> <li>・担任は必ず本人と献立の確認をする。</li> <li>・配膳は本人が行う。</li> <li>・給食主任、養護教諭、学年主任、教頭とでアレルギー生徒の配膳と献立チェックの方法を確認し、全職員に対して改善点の周知徹底をした。</li> </ul>

小1	乳	<p>○給食の『米粉パン』（アレルギー乳を含む）を誤食したケース</p> <p>乳アレルギーでパン食カットの児童。保護者からの盛り付け図に除去の記入がなかったため、給食前に米粉パンの提供について担任から養護教諭に確認があった。盛り付け図を信じて成分表を確認せずに米粉パンを誤食してしまった。その後、給食主任に確認をしたところ「乳」が含まれていることがわかり担任から保護者に連絡した。</p> <p>保護者の記入漏れと担任と養護教諭の確認ミスであった。経過観察を行い、児童に異常はなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者から提出された盛り付け図を担任、養護教諭でダブルチェックを行い、記入漏れがないかのチェックを怠らない。</li></ul>
----	---	--